

社協職員の発想力向上委員会～“言う気”は“勇気”～

「全国津々浦々、全ての社協は同じ活動をしている？」そんな〇×クイズがあったら、答えは「×」と答える方がほとんどだろうと思います。例えば、過疎地域の社協と都市部の社協、山間部の社協と沿岸部の社協など、その地域によって社会環境や生活課題は異なるからです。つまり、私たちが進める地域福祉活動はオーダーメイドで地産地消の取り組みであるとも言えます。

これを前提にすると、各社協のコミュニティワーカーがそれぞれの地域において課題をキャッチし、その地域に合ったやり方で地域福祉活動を進める必要がありますし、もっと言えば発想力、オリジナリティが求められる活動だと言えます。

しかし、社協によっては事業の細分化等により「前任者から引き継いだ業務をしている」「委託業務の仕様に基づき行なっている」「ここからここまでが担当者の役割」など、自分で考え、自分で発想するという機会に恵まれない職員もおり、ひいては発想力・企画力を養う場が激減しているような状況も見受けられます。そこで、本研修会では「発想力」に着目し、地域福祉を興していく視点について学びます。

◆と き 令和3年7月17日(土) 13:30～16:00 受付 13:00～

◆会 場 ピーポート甘木 第4・5学習室(朝倉市甘木198-1)

◆定 員 30名

◆内容・タイムスケジュール

◎13:30～開会

◎13:40～セッション①

まずは頭を柔軟にしよう～物事に付加価値をつける力を身に着ける～

◎14:00～セッション②

物事を多面的に捉える力を養おう。～物事を反対から見てみると・・・?～

◎14:15～セッション③

肯定する力を高めよう。～課題と社会資源は表裏一体であることを知る～

◎14:45～セッション④

鳥目線で考える、今地域で気になる課題。～木も見て森も見る～

◎15:10～セッション⑤

発想力を鍛える!～マイナスとマイナスを掛け合わせると何になる?～

◎15:50～まとめ「発想力を豊かに、地域にWin-Winの関係をつくりましょう!」

◎16:00～閉会

※原則、グループワークで研修は進めます。一人ひとりが研修の主体者であるとの認識を持ってご参加ください。しかしながら、自由に発言できる研修としますので、肩の荷を下ろしてご参加いただければ幸いです。

◆助言者・コメンテーター（敬称略）

向上長 國武 竜一（うきは市社会福祉協議会）

課題をキャッチする嗅覚は九州・・・いや日本でもトップクラス。いち早く課題を捉えそれを起点に新たな取り組みを興してきたうきは市社協の仕掛人。人呼んで「泣きの竜、海釣り人」。

副向上長 宿利 幸央（志免町社会福祉協議会）

平成 24 年から 4 年間地職連会長を務め、当時個性豊かな役員を取りまとめていた猛者中の猛者。クールな雰囲気であって内面には熱いハートを持つ。人呼んで「一発で名前を読まれない漢」

アシスタント ト部 善行（筑後市社会福祉協議会）

愛妻家。三姉妹のパパ。カープファン。実は仕事より家庭優先の男。仕事はコミュニティワーカー。人呼んで「歌えるけど踊れない社協マン」

◆申込み・問合せ

参加を希望される方は、別紙参加申込書に必要事項をご記入の上 F A X でお申し込みください。また、メールで申し込まれる場合は申込書にならない必要事項をご記入の上お申し込みください。

なお、コロナウイルス感染拡大防止の観点から定員を 30 名とさせていただきます。一つの社協から複数名の参加者がいる場合、定員をオーバーした際には調整をお願いさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

〔申込先〕 上毛町社会福祉協議会 小林

〒871-0903 福岡県築上郡上毛町大字八ツ並 143-1

TEL 0979-72-2900

FAX 0979-72-3963

MAIL koge-syakyou@soleil.ocn.ne.jp